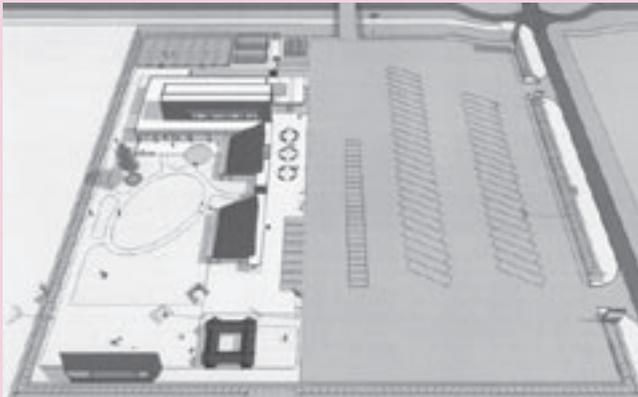


議員協議会

6月9日に開催された議員協議会で、町部局から道の駅の現在までの状況と今後のスケジュールについての説明があり、その後、質疑応答が行われました。

今後の予定として、平成28年4月に道の駅建設工事を開始し、平成29年9月に道の駅オープンを予定しています。

道の駅の完成予想図



上から見た図



正面から見た図

※詳しくは町のHPに掲載しています。

主な質疑内容

Q 民間企業が道の駅に入る可能性の話は出ているのか。土地の価格はどうなっているのか。

A 町から民間企業へ参画していただけよう働きかけを行っている。民間企業からも道の駅に参画したいと申し出もある。土地の価格は、6月補正後に不動産鑑定士を入れて鑑定を行う予定で、その後金額が決まるので、現在、土地の価格は算出できない。

Q スケジュールの中で、直売所で取り扱うものを決めるのが遅いのではないかと。組織が優先となっており、その前に供給面で、何を売るのか。野菜などは計画から1年以上かかるので、年内にはどれくらいのを直売所で売ろうとするのか同時にこういった農産物を売るのか。早めに決めた方が良いと思う。トイレの位置について、検討経過を聞きたい。

A 管理運営主体の検討の、直売組織の設立検討の中で、直売所の設立だけではなく、JAとどの品目をど

れだけ作るのか、品質の基準をどこまでにするのか、などを検討しながら、組織を立ち上げていく考えである。テイクアウトも事業者の募集選考とあるが、どういう商品構成がいいのか、どういうレベルの商品を扱うのか。仮に新商品の開発が伴えば遅くとも27年中には、ある程度のイメージを決めながら、28年には新商品開発に向けたテストマーケティングを1年かけながら実施しなければならない。1年をかけ、こういった農産物を確実に作れるのか。また体制をとるのか。テイクアウトも同じことが言える。ソフト面が重要と考えているので、伸びた1年でそういったところに力点を置く。トイレの位置は、通常駐車場の中央にトイレを配置することが多い。参考

にしているのは、道の駅が閉まると、トイレ用の出入り口を開ける。道の駅が営業しているときは、トイレ用の出入り口を閉じる。一度道の駅に入らなければ、トイレに行けないようになっている。今後実施設計の中でこういった形がいいのか、検討していく。

Q スケジュールが1年延びた分をどこに力点を置くのか。地中熱ヒートポンプについて、費用対効果はどうなのか。

A 地中熱の費用対効果は、実施しているところに聞き取りをしたところ、10年程度で、維持管理、電気代を考えるとコスト回収ができると聞いている。故障も少ないと聞いている。今後、現地調査も行う。

☆用語解説

議員協議会とは、地方自治法第100条第12項の規定により、議案の審査または議会の運営に関し協議または調整を行うための場として設置されており、議員全員で構成され、議長が召集します。